

広範な抗菌スペクトラムを有する殺菌剤



ベルクート水和剤
の分野別ポイント

「果樹」の幅広い病害に
優れた予防効果。



[なし]

黒斑病、黒星病、輪紋病、うどんこ病の同時防除が可能であるため、青梨・赤梨混植園での使用が可能。



[もも]

黒星病および果実腐敗を引き起こす灰星病、ホモブシス腐敗病、果実赤点病の同時防除が可能。収穫前日まで使用可能。

「用途多彩！」

適用作物が多く使いやすい。

従来の薬剤と異なる作用性を有するため、各種薬剤耐性菌に対しても有効。



[かき]

落葉病、炭疽病、うどんこ病、灰色かび病、すす点病、黒星病と多くの病害に対して有効。



[おうとう]

灰星病に対して有効。既存の薬剤と異なった作用機構を有するため、他薬剤耐性菌に対しても有効。



[すもも]

灰星病に有効。



[キウイフルーツ]

果実軟腐病、灰色かび病を対象に収穫前日まで使用可能。



[りんご]

主要病害の同時防除が可能。



[みかん、かんきつ]

灰色かび病、そうか病、貯蔵病害に対して有効。



[広範な抗菌スペクトラムを有する殺菌剤]
ベルクート
水和剤

農林水産省登録 第18821号

有効成分:イミノクタジンアルベシル酸塩…40.0%

殺菌剤分類 M7

人畜毒性:普通物

(毒劇物に該当しないものを指す)

■適用病害と使用方法(抜粋)

*印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤及びイミノクタジンを含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期*	総使用回数*		使用方法
					本剤	イミノクタジン	
りんご	黒星病、斑点落葉病	1,000~2,000	200~700	前日	6回	8回 (液剤及び水和剤は合計6回 (開花期以降は3回) 塗布剤は2回)	散布
	輪紋病、褐斑病 すす点病、すす斑病、黒点病	1,000~1,500			5回	5回 (塗布剤は2回) (液剤は1回)	
	うどんこ病、黄腐病	1,000		前日	3回	3回 (休眠期は1回)	
	黒斑病、黒星病、輪紋病 うどんこ病	1,000~1,500			3回	3回	
	もも	灰星病、ホモブシス腐敗病、うどんこ病 すすかび病、果実赤点病	1,000~2,000	前日	2回	2回	
	黒星病	2,000	14日		3回		
とうとう	灰星病	1,000	前日	5回	5回		
みかん	灰色かび病	1,000~2,000		14日	2回		
かんきつ (みかんを除く)	そうか病 貯蔵病害(緑かび病)	2,000	30日	3回	3回		
かき	炭疽病、落葉病、うどんこ病 灰色かび病、すす点病、黒星病	1,000~1,500		3日	7日		
キウイフルーツ	果実軟腐病、灰色かび病 貯蔵病害(灰色かび病)	1,000		4	4	無人航空機による散布	
マンゴー	炭疽病						
あけび(果実)	うどんこ病	3,000					
小粒核果類 (うめ、すももを除く)	黒星病、灰星病、灰色かび病 すす斑病、環紋葉枯病						
うめ	黒星病、灰星病、灰色かび病 すす斑病、環紋葉枯病、枝枯病	2,000					
すもも	灰星病	1,000~2,000					
びわ	灰斑病、灰色かび病	1,000					
		10					

!**効果・薬害等の注意(抜粋)**

- イミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
- りんごに使用する場合、芽出し2週間過ぎから落花後25日ごろまではさび果を生じるおそれがあるので、この時期の散布はさせてください。
- なしに使用する場合、西洋なし品種ルレクチエではさび果を生じるので使用しないでください。
- ももに使用する場合、缶桃14号等の缶詰用品種では葉に薬斑を生じるので使用しないでください。
- おとうに使用する場合、着色始期から中期の散布では薬害(着色障害)が生じるおそれがあるので使用しないでください。
- かきに使用する場合、西村早生では葉に薬斑を生じるので使用しないでください。
- 蚕に対して毒性があるので、桑にかからないように注意して散布してください。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
- 無人航空機による散布を行う場合には、次の注意事項を遵守してください。
 - ①散布機種の散布基準に従って行ってください。
 - ②散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③散布中に薬液の漏洩がないよう、事前に機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - ④散布薬剤の飛散によって他の動植物等に影響を与えないよう、散布区域の選定に注意するとともに、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
- 使用方法などを厳守してください。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任

において、事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

!**安全使用上の注意**

- 誤飲、誤食などのないように注意してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮ふに対して弱い刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 薬液調製時及び使用の際は、保護メガネ、農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は、直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに、衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は、他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体质の人は、取扱いに十分に注意してください。
- 街路・公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 水産動植物への影響:水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管:密封し、直射日光を避け、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した場所に保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

※本資料は2025年1月現在の登録内容に基づいています。



ホクサン株式会社

技術普及課 北広島市北の里27番地4 TEL.011-370-2280



最新の登録内容

NS-OK 25.01